

# SUZUKI METHOD



 公益社団法人  
才能教育研究会

才能教育研究会本部事務局

所在地 〒390-8511 松本市深志3-10-3

TEL 0263-32-7171

FAX 0263-32-7451

メール talent@suzukimethod.or.jp

WEB http://www.suzukimethod.or.jp

ANNUAL REPORT 2020-2021

## CONTENTS

MESSAGE 会長挨拶 03

どの子ども育つ、育て方ひとつ 04

EVENTS 2020-2021年に行われたイベント 06

MAIN ACTIVITIES 2020-2021年の主な活動 08

TALK SESSION  
これからのスズキ・メソード 10

特別講師陣からのメッセージ 13

スズキ指導者の取り組み 14

スズキ・メソッドのDX 16

2020年度 収入と支出の内訳・ご支援のお願い 17

スズキ・メソッド 75年のあゆみ 18

世界への拡大 19

SUZUKI METHOD  
ANNUAL REPORT 2020-2021

## MESSAGE

会長挨拶

### 早野龍五

公益社団法人才能教育研究会 会長

1952年生まれ。岐阜県大垣市出身の物理学者（理学博士）、東京大学名誉教授。幼少期に鈴木鎮一に師事し、1964年の才能教育研究会第1回アメリカ演奏旅行に参加。反物質の研究により仁科記念賞、中日文化賞を受賞。2016年より才能教育研究会第5代会長。近著に『「科学的」は武器になるー世界を生き抜くための思考法ー』（新潮社）。



## 世界の夜明けは子どもから。 スズキ・メソッドは75年のあゆみ、74の国と地域に。

### すべての子どもがもつ無限の可能性を大切にします

私たちは新型コロナウイルス感染症がもたらした「新しい社会環境」を生きていくことになりました。学びの場にも様々な変化が起きていますが、このような時代にあっても子どもが新たな環境に適応し、育っていく能力の高さには目を見張るものがあります。特に驚くべきは、どのお子さんも、お父さんやお母さんの話す言葉を毎日繰り返し聞くうちに、いつのまにか自在に言葉を話せるようになるという、素晴らしい能力を持っていることです。この事実に驚き、どの子ども育つとの信念を持ったヴァイオリニストの鈴木鎮一は、1946年に長野県松本市に音楽院を設立し、スズキ・メソッドを創始しました。その基本は母語教育法です。子どもが母語を覚えるように、幼い時から良い音楽を繰り返し聞き、楽器を毎日繰り返し練習することで、高い音楽性と豊かな心が育ちます。

### スズキ・メソッドは非認知能力開発のパイオニアです

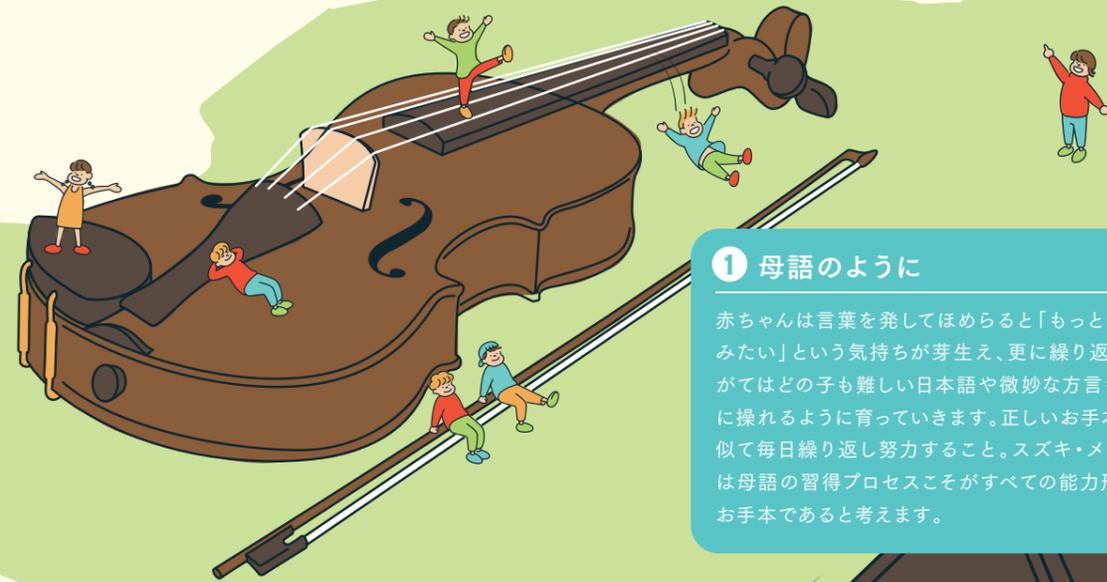
それに加えてこの繰り返しの練習で育まれるのが、やる気、忍耐力、協調性などの非認知能力です。ノーベル経済学賞を受賞したヘックマン博士が「幼児期に非認知能力を育てることが、子どもの教育で最も大事なのだ」と指摘したことで、非認知能力は世界的に注目されるようになりましたが、実は、スズキ・メソッドこそが非認知能力を育てるパイオニアなのです。鈴木鎮一は「音楽を教えることが私の一番の目的ではありません。私は人を育てたいのです。良い音楽を聴き、演奏することを学べば、子ども達は感受性、規律、忍耐力などを身に付けることができます」と言いました。これこそ、まさに非認知能力ですね。

### 学んだ先輩たちが示すスズキ・メソッドの将来性

75年におよぶスズキ・メソッドの成果は素晴らしいものです。多くの著名な音楽家を輩出しているのに加え、学界や産業界などさまざまな分野に、多くの人材を送り出してきました。現在では、スズキ・メソッドは74の国と地域に広まり、40万人以上のお子さんがヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートに加え様々な楽器などを学んでいます。全世界で使われているスズキ・メソッドの教本は「キラキラ星」から始まり、毎日の練習を積み重ねることで、バッハやモーツァルトを美しい音で自在に弾けるように工夫されています。さらに、楽器の習得とともに育つ非認知能力は、一生の宝となるのです。時代が移っても変わることのないスズキ・メソッドの“想い”が一人でも多くのお子さんに届きますように。世界の夜明けは子どもから。

# どの子どもも育つ、育て方ひとつ

スズキ・メソッドは「才能は生まれつきではない」という創始者鈴木鎮一の理念により終戦直後に始まりました。どんな子どもも無限の可能性をもって生まれてきます。愛情をもって導かれ正しい訓練を繰り返すことで高い感性と能力をもった人間に成長できます。75年の実践により多くの子どもが立派に育ち豊かな人生を送り世界の平和に貢献してきました。スズキ・メソッドへの共感の輪は世界74の国と地域まで広がり、そして今も拡大を続けています。「質の高い教育をみんなに」国連の掲げる持続可能な開発目標(SDGs)こそスズキ・メソッドが目指す姿です。



## ① 母語のように

赤ちゃんは言葉を発してほめらると「もっとやってみよう」という気持ちが芽生え、更に繰り返し、やがてはどの子どもも難しい日本語や微妙な方言も自在に操れるように育っていきます。正しいお手本を真似て毎日繰り返し努力すること。スズキ・メソッドは母語の習得プロセスこそがすべての能力形成のお手本であると考えます。

## ② 親子一緒に

毎日が忙しく子育てがたいへんな現代社会。スズキ・メソッドは、そのような社会でも親子一緒に環境を大切にします。レッスンで習った事を親子で毎日繰り返し練習することを習慣化し、次のレッスンで自然とできるようになっていること。この積み重ねがやがては大きな成長につながっていきます。



## ③ よい音、よい心

子どもは五感を全開にして周囲の環境から吸収して育ちます。繰り返し聴いたよい「音」を真似しようと努力し、やがてはお手本の音に宿っているよい「心」も表現できるように成長します。これは大人になって<ノウハウ>で習得できるものではありません。スズキ・メソッドではすべての分野で「子どもにこそ最高のものを」が高い能力開発の基本と考えています。



## ④ 「非認知能力」とは

「非認知能力」が注目されています。赤ちゃんは高いレベルのお手本に豊富に接し、同じようにできるようになるまで繰り返し真似をして自然に習得します。このプロセスで培われる忍耐力、感受性、包容力、共感力など、数値で表せない人間独自の高度な能力が「非認知能力」であり、これがスズキ・メソッドで育まれる能力の姿です。



## ⑤ 私はよき市民を育てたい

創始者鈴木鎮一は世界レベルの優れた音楽家を輩出しながらも、「私は音楽家でなくよき市民を育てたいのです」と常に語っていました。単なる音楽教室でなく、すべての子どもの能力開発を通じて世界の平和に貢献したい。この理想が創始者没後も世界中でスズキ・メソッドが新たな共感を呼び拡大を続ける礎となっています。

## ⑥ これからの時代こそスズキ・メソッド

「世界の夜明けは子どもから」初期のスズキ・メソッドで鈴木鎮一の直接指導を受けて育った現会長早野龍五は、地球規模になったスズキ・メソッドの新たな発展を描いています。科学技術の発展が物質的な豊かさをもたらした一方、環境や人間の心は危機にさらされています。今こそ世界中の子どもにスズキ・メソッドをお届けし、安定した世界の平和と発展を次世代の子どもたちに託したい。私たちはこのような使命感をもって取り組んでいます。



# EVENTS

2020-2021年に行われたイベント

# 2021

第2回スズキ教育法研究会



1/25 | 才能教育会館

関西グランドコンサート



1/26 | フェニーチェ堺

0-3歳児コースと幼児教育研究会  
共同シンポジウム

11/3 | オンライン開催

国際スズキ協会 (ISA) 理事会

10/17-18 | オンライン開催

第20回スズキチルドレン  
ピアノコンサート

10/25 | オンライン配信

第69回夏期学校

7月下旬-8月上旬  
※新型コロナウイルス感染防止のため中止

全国指導者研究会

6/1 | オンライン開催

おうち夏祭り2020

8/1-2 | オンライン開催

第9期定時総会

8/24 | 才能教育会館ホールよりオンライン配信

ピアノ科卒業式・卒業演奏会



4月 | オンライン開催

フルート科研究会

4/26 | オンライン開催

関東地区指導者新年研究会



1/11 | オンライン開催

第10期定時総会

8/23 | 才能教育会館ホールよりオンライン配信

卒業検定制度  
検定作業12月-1月

国際スズキ協会 (ISA) 理事会

10/16-17 | オンライン開催

第22回ピアノ科研究科全課程卒業生コンサート

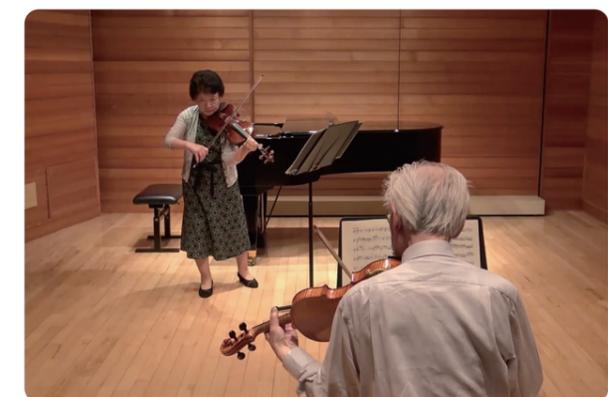
9/23 | きゅりあん小ホール

第70回夏期学校



7/30-8/1日 | オンライン開催

全国指導者研究会



6/7-10 | オンライン開催

## 2021.1

## 2020.1

# 2020

# MAIN ACTIVITIES

2020-2021年の主な活動

## 全国指導者研究会

東 誠三特別講師長による奏法レッスン



**開催期間:**2020年6月1日(月)、2021年6月7日(月)-10日(木)  
**開催方法:**オンライン配信  
**参加者数:**ヴァイオリン・ピアノ・チェロ・フルート科指導者及び特別講師 約500名

全国指導者研究会は毎年6月上旬松本市にて4日間に渡り開催し、毎回多彩なテーマで様々な研究を重ねています。2020年、2021年は、新型コロナウイルス感染拡大のため集合対面形式の研究会開催を直前に中止せざるをえず、急遽オンライン開催に移行しました。2020年は1日だけのプログラムでしたが、2021年はコロナ禍継続の中で蓄積したオンライン配信のノウハウや指導者のオンライン習熟により、4日間に渡る従来の研究会とほぼ同じプログラムを組むことができました。

## 夏期学校

夏期学校開催の挨拶をする早野龍五会長と撮影スタッフ



**開催期間:**2020年8月1日(土)-2日(日) \*夏期学校は中止となり、事前準備されたプログラム「おうち夏祭り2020」を配信  
2021年7月30日(金)-8月1日(日)  
**開催方法:**オンライン配信  
**参加者数:**ヴァイオリン・ピアノ科・チェロ・フルート科生徒 約2300名

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏期学校は中止とし、「おうち夏祭り2020」と題した代替イベントをYouTubeLiveを利用したライブ配信で行い、日本の生徒に加えて欧米、ロシア、アフリカの生徒・指導者も参加し盛り上がりました。70回記念の開催となる2021年は早くからオンライン開催と決定し、オンラインで本格的な夏期学校を開催しようと指導者・関係者が精力的に準備しました。ピアノ科が自宅のピアノで演奏参加できるため参加者が約2.5倍に急増するなど、オンライン開催による予想外の効果もありました。

## 卒業検定

ピアノ科卒業式での卒業証書授与式



**実施期間:**(録音提出)毎年10月-11月  
(検定結果通知)毎年2月  
**実施方法:**スズキ・メソッド指導者が生徒の課題曲録音を本会事務局に提出  
検定委員(本会指導者・特別講師)による検定結果が指導者及び生徒に通知される  
**検定数:**2020年度 4125本  
・ヴァイオリン科:2398本 ・チェロ科:232本 ・フルート科:42本 ・ピアノ科:1447本 ・ヴィオラ科:6本  
2021年度 3830本  
・ヴァイオリン科:2218本 ・チェロ科:201本 ・フルート科:28本 ・ピアノ科:1379本 ・ヴィオラ科:4本

スズキ・メソッドの卒業検定は、生徒だけでなく指導者にとっても普段の指導の集大成です。生徒の録音で指導者の指導も厳しく評価され、それがスズキ・メソッドの基盤となっています。2021年は、新たに導入した基幹業務システムを活用し、従来のCD録音提出からデジタル音源アップロード提出への移行が開始され、数年後の完全移行後にはロジスティクスや事務作業の効率化実現も達成できる見込みです。

## フルート科50周年

特別講師の宮前文明先生を囲んで合同レッスン



2021年、フルート科は創設50周年の記念イヤーでした。フルートの神様、マルセル・モイーズの薫陶を受けた高橋利夫先生のスズキ・メソッドフルート指導曲集が起源です。オンライン開催された夏期学校やYouTubeチャンネルでの「50組で繋ぐ☆きらきら星変奏曲」、で世界に広がったスズキ・メソッドのフルート仲間が集い記念イヤーをお祝いしました。これまでの発展の軌跡をつづった記念誌も刊行しました。

## SPECIAL REPORT

### 東京大学との共同研究

スズキ・メソッドは子どもの自然な母語習得を可能にする人間の高度な能力に注目し、それを楽器演奏習得に応用しています。この習得プロセスを脳科学的に解明しようと、言語脳科学の第一人者である東京大学酒井邦嘉教授の研究室と2017年より共同研究を行っています。ヴァイオリン科の生徒が37名参加した調査では、fMRI(機能的磁気共鳴画像法)という脳機能イメージングの手法で、脳の特定の領域がどの程度活動するかが詳細に調べられました。その結果、楽器習得の経験や音楽的な判断を反映した脳活動の活発化が示され、研究結果は英国の学術誌Cerebral Cortexに掲載されました。2022年は総合的な研究結果を発表の予定です。

# これからのスズキ・メソード

「すべての子どもの生きる力を育む」という大きな理想に向けて、スズキ・メソードはいかにあるべきか。幼児教育現場でスズキ・メソードを実践するスズキ・メソード幼児教育研究会の土居孝信会長をお迎えし、大きな変動を迎えそうなこれからの社会でのスズキ・メソードの可能性と課題について早野龍五会長と語り合っていました。(2021年10月20日収録)

## 音楽だけではない スズキ・メソード

**早野** 本日はよろしくお願いします。スズキ・メソードは終戦直後長野県松本市でスタートし、75年で74の国と地域に広がりました。日本では全国に広がる音楽教室、世界では優れた子どもの音楽教育法として知られています。これは創始者の鈴木鎮一先生ご自身が優秀なヴァイオリニストだったからですが、実は音楽だけではない大きなビジョンがあったわけです。

**土居** 「人は環境の子なり」「どの子も育つ、育て方ひとつ」という鈴木鎮一先生の呼びかけは福澤諭吉の「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」を想起させる時を得た偉大なメッセージだったと思います。終戦直後の荒廃の中でこの呼びかけは多くの人々に希望の光を与えたのではないのでしょうか？

**早野** 鈴木先生は音楽教室の場だけでなく小学校でも自分の教育理念を実践しようと松本郊外の小学校の協力で実験教室をやりました。音楽以外への広がりに

いかに真剣だったかという当時公選制だった県の教育委員に立候補しているのですよ。

**土居** それは知りませんでした。私は実験教室で実際にスズキ・メソードを取り入れた授業を行った田中茂樹先生に1980年代に直接師事する機会に恵まれました。その頃田中先生は既に小学校の教職を退任され、ご自分で創設された白百合幼稚園でスズキ・メソードの幼児教育を実践されていました。鈴木先生と田中先生は「公」に頼らない自助の精神に満ちていました。その影響を受けて私も2000年に大分県で幼稚園を設立し、自分の幼稚園での実践に加えてスズキ・メソードによる幼児教育の輪を大きくしようと今日まで活動してまいりました。

**早野** 土居会長の幼稚園や幼児教育研究会はスズキ・メソードを深く研究・実践されており、鈴木先生が追い求めた「音楽教育と幼児教育」の両輪による社会教育運動を発展させる大きな可能性を秘めておられると思

います。スズキ・メソードの将来についてどのような展望をもっていらっしゃいますか？

## 幼児教育への注目は スズキ・メソードへのチャンス？

**土居** 私は日本の幼児教育の現場に長年身を置いておりますが、ここ数年で幼児教育をめぐる環境が大きく動いていると感じます。選挙でも「子育て支援」と「幼児教育」は与野党共通の政策課題になっています。しかし女性の就労促進や家計の負担軽減の視点が中心で、特に0歳～2歳の乳幼児の成長には焦点があたっていません。乳幼児教育はまだまだ見えない部分が多く一般の人には理解してもらえないのです。一般の人に乳幼児教育の重要性を理解いただかないと政策も動きません。

**早野** 幼児教育への関心はノーベル経済学賞のヘックマン博士の研究成果が大きなきっかけでした。幼児教育への投資はその子ども自身だけでなく社会投資の視点でも一番経済効果が高いという学説でした。またヘックマン博士の主張は、やる気、忍耐力、協調性、継続力、感性・・・など数字で表せない能力、いわゆる「非認知能力」は乳幼児の教育環境によってのみ育まれ、しかもこの力こそが将来の生活力、社会貢献力につながるというのです。これはまさに75年前に鈴木先生が始めたスズキ・メソードの理念そのものなのです。

**土居** まったくその通りです。鈴木先生の遺された書物を読めば読むほど腑に落ちることが多い。学校教育に取り入れられなかったのは残念ながら時代が早すぎたということでしょう。鈴木先生が今もご存命なら幼児教育について社会も更に動いてくれると思うのですが。

**早野** 幼児教育として鈴木先生は繰り返し、暗唱、あいさつや片付けなどの生活規律の訓練をたいへん重視されていました。これがまさに「非認知能力」養成の要です。残念ながらその効果はヘックマン博士のように何十年も成長していく子どもを追跡調査しないとわからないのです。スズキ・メソードは既に75年の実践で実際に立派に育った多くの子どもたちがヘックマン博士の正しさを証明してくれています。これからの課題は一般社会の人々により分かり易い形で示して理解いただく事だと思っております。

**土居** 幸いこれからチャンスは多いと思います。OECDの「Starting Strong=人生の始まりこそ力強く」(\*1)、国連の「質の高い教育をみんなに」(\*2)はみな幼児教育を焦点にしています。日本では認定こども園制度、幼児教育無償化、こども庁設立構想とここ数年大きく動いています。しかしながら日本の動きは子育て支援、女性の就労促進がメインです。この動きの中で幼児教育の質に焦点を当ててスズキ・メソードを普及させていくのは大きな挑戦です。

## 早野龍五

- 公益社団法人才能教育研究会会長
- 国際スズキ協会理事
- 東京大学名誉教授



## 土居孝信

- スズキ・メソード幼児教育研究会会長
- 学校法人明佳学園理事長
- 大分県中津市双葉ヶ丘幼稚園園長
- 全日本私立幼稚園連合会九州地区会長
- 大分県私立幼稚園協会会長



## 社会環境変化に対応した 変化と働きかけを

**早野** スズキ・メソッドではお母さんのご家庭での役割を重視しているので、女性の就労促進は大きな状況の変化です。今のお母さま方はお仕事と育児で大変忙しいので、昔のように子どもの習い事にご自分の時間を使えないのです。我々は新しい社会環境の中でスズキ・メソッドの音楽教室や幼児教育を行えるように変化しなくてはなりません。

**土居** それは重要ですね。幼稚園でお母さま方と接すると皆さんが限られた時間の中でお子さんとの濃密なふれあいを大切にされていると感じます。お母さまも参加していただく育児教室では「ベビーマッサージ」が一番人気です。お母さま方のそのような想いに上手に寄り添いながら限られた時間でもお子様への教育を充実させていくお手伝いをすることが我々の役割だと思います。

**早野** 保護者の方々の「忙しくても充実した子育て、教育をしたい」という＜顧客ニーズ＞を実現できるように自分達が変わっていくことが喫緊の課題です。それに加えてそのようなニーズを実現できるよう社会との協力を推進することも大きな課題です。この報告書をお読み

スズキ・メソッド幼児教育研究会は、公益社団法人才能教育研究会とともに「世界中の子どもたちの幸せ」のために、スズキ・メソッドによる幼児教育を広く、深く、研鑽・伝道しています。  
白百合幼稚園(松本) / 双葉ヶ丘幼稚園(中津) / 光ヶ丘幼稚園(宮崎) / 白百合幼稚園(福島) / 認定こども園五風会(岸和田) / ももぞのこども園(大分)

いただいた多くの方々にも広くスズキ・メソッドの本質をご理解いただき様々な形でのご支援をお願いしたいと思っております。

**土居** まだまだやれるべき事がたくさんありますね。スズキ・メソッドの理念を正しく理解し実践できる若い指導者・先生の育成も我々の使命です。激動の時代に力強く生き抜いて平和な社会を築いていける子どもを育てる気概と使命感をもったスズキ・メソッドの次世代人材を育てること。早野会長の「世界の夜明けは子どもから」をモットーに頑張っていきたいです。

**早野** 一緒にがんばっていきましょう。本日はありがとうございました。

### \*1 Starting Strong(人生の始まりこそ力強く)

2001年のOECD保育白書。加盟20カ国の乳幼児期の教育とケア(Early Childhood Education and Care, ECEC)についての報告。  
・主管庁の指定・中央と地方の協調・参画型の改革・地域レベルサービス向上・保護者と専門家の連携強化等の政策提言はその後の先進国の育児国策に大きな影響をもたらした。

### \*2 Quality Education(質の高い教育をみんなに)

国連が2015年に採択した「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」で提唱された17の目標の一つ。世界のすべての子どもが成長に必要な教育を公平に受けられる社会の実現への政策提案。

## 特別講師陣からのメッセージ



**東 誠三先生**  
ピアノ科特別講師・特別講師長  
“コロナとの共生”の時代へ向けて、新しい発想も取り入れつつ、教育内容の充実に取り組んでまいりたいと思います。



**菊地 知也先生**  
チェロ科特別講師  
コロナ禍が終息し、以前にも増した“空気を通じてのコミュニケーション”が行える時が来ることを心より楽しみにしております。



**竹澤 恭子先生**  
ヴァイオリン科特別講師  
コロナで止まってしまった期間は、人間にとって音楽とは何なのかを見つめ直す機会になりました。皆様と共に成長し、様々なことにチャレンジしたいと思っております。



**山本 裕康先生**  
チェロ科特別講師  
音楽はもちろんの事、生活の基本である対面でのコミュニケーションがスズキ・メソッドのチェロ科の皆様と取れる日を待ち望んでいます。それまでお互い健康でいましょう。



**江口 有香先生**  
ヴァイオリン科特別講師  
ご飯がいたで、笑うことができ、音楽があって、「ありがとう」を言うことができるだけでありがたい。音楽を通して今日できる限りのことをしたいと思います。



**宮前 文明先生**  
フルート科特別講師  
かつての日常とは違うオンオフが混在する時代。対面でもバーチャルでもしっかり着実に成長するには、以前に増して学び、感じ、行動する総合的な能力の向上が欠かせません。ひとりひとりの人間力の発展を全力でサポートしていきます。



**荻原 尚子先生**  
ヴァイオリン科特別講師  
世の中が未だかつてない状況の中、大自然の一部である音楽が身近にあることはとても幸せなことです。音楽を通して皆様のお役に立てるよう、精進いたします。



**白井 文代先生**  
ピアノ科特別講師  
コロナ禍以降、時代の急変化を感じる今、スズキ・メソッドの本質を更により良く発展させる可能性を、希望を持って先生方皆様と模索して行ければと思います。



**倉田 澄子先生**  
チェロ科特別講師  
子どもたちが、自分の好きな音を楽しめるように、私達は基礎の大切さを伝えましょう！自分の理想の音を探し求め、イメージを膨らませることが出来るように…。



**村尾 忠廣先生**  
0～3歳児コース特別講師  
機関誌に「スズキSongsを考える」と題して連載を始めました。スズキ・メソッドを少し異なった視点から掘り下げようとしています。ぜひお読みください。

スズキ・メソッドの特別講師は、スズキ・メソッドと縁が深く、国内外の一線で活躍する音楽・教育の専門家です。



## PICK UP



### 幼稚園とのコラボレーション

才能教育学園 白百合幼稚園(松本市)

対談にも登場する故田中茂樹先生が、スズキ・メソッドを取り入れた幼児教育を行う実践の場として1970年に開園。以来50年以上に渡り、一貫してスズキ・メソッドの幼児教育プログラムで大勢の子どもが育ってきました。スズキ・メソッドのヴァイオリンレッスンは幼稚園のカリキュラムに組み込まれ、幼稚園教諭とスズキ・メソッドの楽器指導者(ヴァイオリン・ピアノ)が協力しあい、全員の子どもの立派にひけるようになるまで、一人一人の園児に寄り添って指導しています。子どもたちは忍耐力、自主性、協調性、礼節などを自然に身に付けて立派に育っていきます。

## 親子の良い関わりを支えたい

スズキ・メソッドでは子どもの成長における親の役割を大切にしています。そのため、教室では子どもへのレッスンだけでなく、親とのコミュニケーションも大切にしている取り組みを行っています。



一日の中で5分でも10分でもスズキを通じて親子の時間を作ってくれば、という気持ちで接しています。

母親が就労しているご家庭が多くなり、子どもさんも様々な習い事でめまぐるしく、親子で過ごす時間がどんどん少なくなっています。そんな忙しい毎日でも、フルートのお稽古が親子のよい時間になってくれると嬉しいです。これからの時代は楽器を通じた親子の関わりを支えていくのも指導者の役割だと思います。

金井環

関東地区フルート科指導者 指導歴5年



### MORE

日吉教室 | 齋木優実さん(生徒)と理夏子さん(保護者)フルートを通して、初対面の方とのお挨拶など今まで苦手だったことができるようになり、娘の成長を実感しています。金井先生とは相性がいいんです。



## 手作りのオンラインイベント

毎年6月、全国指導者研究会は指導者として指導や実技を進化させていくための重要な勉強の場となっています。2020年21年は集合対面形式の研究会を断念しオンライン開催となりました。2021年は直前変更という厳しい状況の中、オンラインならではのメリットを最大限に発揮できる配信プログラム作りに奮闘しました。準備を担当したのは関東地区の指導者グループでした。



これを1ヶ月で配信プログラムまでに仕上げる、という難題に取り組みました。

偉大なヴァイオリニスト・音楽家の豊田耕児名誉会長からご経験のすべてを吸収したい、という全国指導者の熱い期待を受けて、オンラインを通じた語りとレッスンでスズキ指導者に視聴してもらおうというコンセプトが決まり、これを1ヶ月で配信プログラムまでに仕上げる、という難題に取り組みました。豊田先生のご記憶は宝箱のようで、先生の深い想いに心が震えました。

野口美緒

関東地区ヴァイオリン科指導者 指導歴29年



### MORE

豊田名誉会長の深い音楽体験に基づいたアドバイスにより、バッハ、ベートーヴェンの難曲を演奏する指導者の音もより深い響きへと変化して行きました。収録後スタッフによる編集作業により完成した配信映像は研究会で全国の指導者に共有されました。





## スズキ・メソッドのDX (IT技術活用による指導現場や組織運営の進化)

2020年はコロナ禍によるリモートワーク、オンラインコミュニケーションの浸透など、IT技術活用による未来のライフスタイルの輪郭が現れた年でした。スズキ・メソッドも2020年～21年は教室の指導現場から本会組織の運用管理までDXの実践による大きな変革を達成しました。

### オンラインツールの活用

スズキ・メソッドでは3つの領域でオンラインツールの有効活用を積極的に推進しています。



2020年のコロナ禍初期では様々な試行錯誤を経て、指導者自身の努力や積極的なノウハウ共有により、オンラインレッスンと対面レッスンを使い分け、コロナ禍においてもレッスンが継続できるようになりました。2021年には、オンラインレッスンのメリット・デメリットの研究も進み、オンラインレッスン内容の工夫や、オンラインで初めて実現できることへのチャレンジ等へと進化しています。



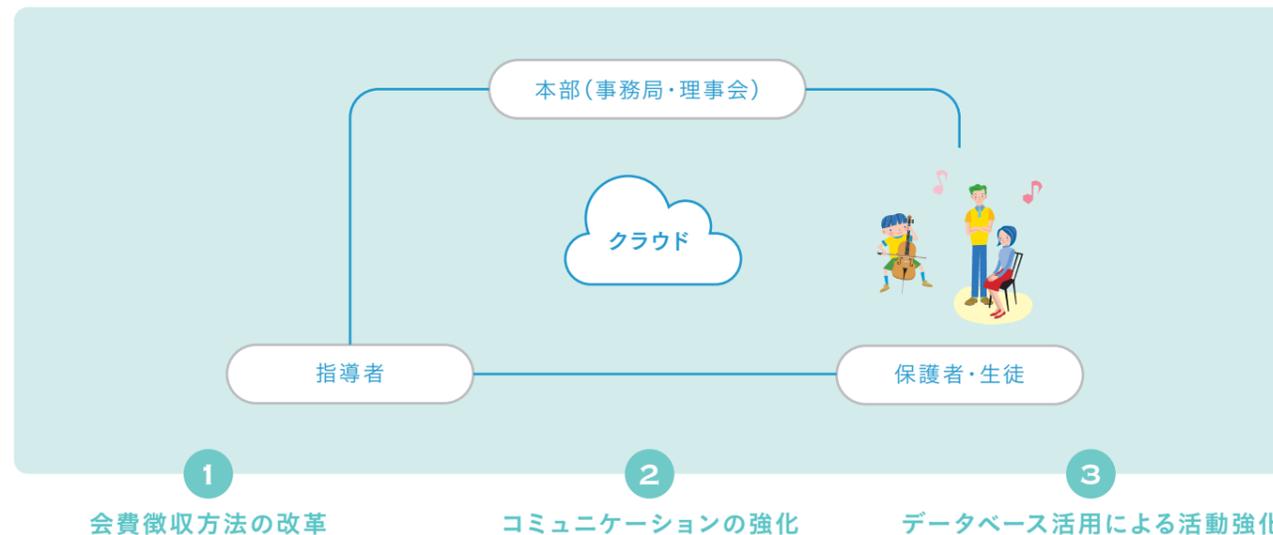
2020年は「オンラインイベント開催」の元年でした。2021年は全てのプログラムを完全オンライン配信とする全国指導者研究会(21年6月)と夏期学校(21年8月)を実施いたしました。両イベントとも従来は日程や費用の面で参加が難しかった遠地の指導者・生徒の参加が多数あり、将来に向けた新しい可能性を示すことができました。



2020年から21年にかけては、定例会議のオンライン化も進みました。年4回の理事会、年1回の社員総会が完全オンライン開催になったほか、指導者が、地区、楽器ごとに集まる各種会議も完全にオンラインに移行し、これにより開催頻度の向上による活性化と費用削減による財務体質強化が実現しつつあります。

### 基幹業務システムの刷新

スズキ・メソッドでは約2年の調査準備期間、開発期間を経て2020年12月に新基幹業務システムが稼働を始めました。



**1 会費徴収方法の改革**  
新システム稼働により、全会員が専用マイページをもち会員の基本情報を登録・閲覧できるようになりました。このシステムを活用し、従来各指導者が毎月徴収し本部に送金していた本部会費を会員が直接本部に納付できるようになり、指導者及び本部事務局の事務の省力化が実現しました。

**2 コミュニケーションの強化**  
新システム導入によりシステム基盤上で様々なコミュニケーションを行う事が可能になりました。会員マイページの活用やオンラインアンケートは情報共有と相互コミュニケーションを推進し、スズキ・メソッド全体の連帯感や運営能力を更に強化する可能性をもたらしました。

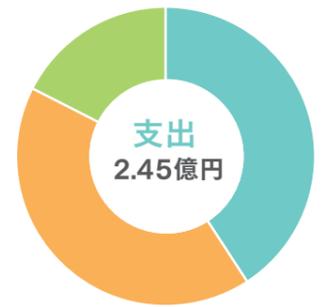
**3 データベース活用による活動強化**  
新システムの継続運用により、各種データの蓄積が進んでいく予定です。これらの蓄積されたデータベースの活用により会員視点で本会運営や指導現場の改革を推進していきます。将来的にはデータ活用を教材、広報にまで広げていきます。

## 2020年度 収入と支出の内訳

- 会費収入 (65.2%)
- 事業収入 (30.1%)
- 補助金・助成金 (3.3%)
- 寄付 (0.1%)
- その他 (1.3%)



- 共通運営費用 (40.8%)
- 事業活動費用 (41.7%)
- 維持費用及び積立 (17.5%)



スズキ・メソッドは会員(主に指導者及び生徒保護者)からの会費が収入全体の約65%を占めています。その他は全国指導者研究会・夏期学校・卒業検定等の主要事業の収入(参加費や検定料など)が主な収入源です。2020年度は主な事業である全国指導者研究会・夏期学校がオンライン配信または中止となった結果、参加費収入が大きく落ち込み、全体収入金額に影響がありました。

賃借対照表  
<https://www.suzukimethod.or.jp/pdf/2020BS.pdf>



正味財産増減計算書  
<https://www.suzukimethod.or.jp/pdf/2020zaisan.pdf>



### ご支援のお願い(賛助会員のご案内)



#### 一般会員・個人

本会の目的および事業に賛同し支援をする個人

年額会費 **5,000円**

#### お支払い方法

入会手続きの際にクレジットカードを登録していただけます。会費は年1回年額を請求させていただきます。



#### 協力会員・法人

本会の目的および事業に賛同し支援をする法人

年額会費 **30,000円(一口)**

#### お支払い方法

入会手続き後、下記口座まで銀行振り込みでお支払いください。※手数料はご負担願います。

支店名 リソナ銀行松本支店  
当座預金 0100439  
名義 公益社団法人才能教育研究会

#### 現在の法人賛助会員様

スズキ・メソッド幼児教育研究会 / 伊那食品工業株式会社 / 株式会社S.I.E / 株式会社アルファ・ファイブ

#### 賛助会員の3つの特典

- 1 会報・機関誌を送付
- 2 本会主催事業への案内状を送付
- 3 会報・機関誌・WEBに法人名を掲載



会長  
早野龍五

皆様のお力添えに感謝いたします。

子どもたちが楽器を通して真剣に打ち込む姿と、できたときの喜びは、大きな人間的成長を促す力となります。私たちスズキ・メソッドは、「どの子も育つ」ことを大切に、そして、時代が移っても変わることなく、さらに拡充、発展させたいと願っております。

詳しくは、スズキ・メソッドのWEBサイトにて「賛助会員入会のご案内」をご覧ください。



## スズキ・メソッド 75年のあゆみ



スズキ・メソッド創始者  
鈴木 鎮一

1898年10月17日名古屋市に生まれる。市立名古屋商業学校卒業後、1920年に上京、徳川義親侯爵家に寄宿してヴァイオリンを安藤幸(幸田露伴の妹)に師事する。翌年、徳川侯爵の世界一周旅行に同行してベルリンに留学。カール・クリングラーに学び、また相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタインからも薫陶を受ける。1928年ワルトラウト・プランゲと結婚し帰国。帰国後3人の弟たちと「鈴木クワルテット」を結成、活発な演奏活動を始める。1931年ロシアのヴァイオリニスト、アレキサンダー・モギレフスキーらとともに帝国音楽学校を東京に設立し、教授に就任、その後校長となる。1937年頃から江藤俊哉、豊田耕児、小林武史・健次兄弟、鈴木秀太郎、有松洋子らを指導する。1943年長野県木曽福島に疎開。1946年長野県松本市下横田に松本音楽院を開設し、院長に就任。同年才能教育研究会の前身である「全国幼児教育同志会」を結成、1948年に「才能教育研究会」と改称する。1979年松本市名誉市民に推戴される。1996年松本市に鈴木鎮一記念館が開館。1998年1月26日永眠。享年99歳。

### 1940年代

1946年(昭和21年) 9月、松本市下横田に松本音楽院創設。鈴木鎮一院長就任。才能教育研究会の前身「全国幼児教育同志会」を結成。

### 1950年代

1950年(昭和25年) 10月、「社団法人才能教育研究会」が設立認可。  
1951年(昭和26年) 長野県霧ヶ峰高原で第1回夏期学校開催。生徒109名と指導者11名が参加。  
1955年(昭和30年) 3月、東京体育館での第1回全国大会(現グランドコンサート)に1200名の生徒が参加。  
1956年(昭和31年) 第1回全国指導者研究会(松本市郊外)に41名が出席。

### 1960年代

1964年(昭和39年) 3月、第1回海外演奏旅行。10人の生徒(テン・チルドレン)がアメリカ各地で演奏。  
1966年(昭和41年) 鈴木会長 アメリカ・ボストンのニューイングランド大学より名誉音楽博士号。1993年までに欧米の9つの大学から名誉音楽博士号・名誉博士号を受ける。  
1967年(昭和42年) 8月、松本市深志に才能教育会館落成。アメリカ弦楽指導者協会(ASTA)のメンバー68名が来日し、夏期学校を視察。

### 1970年代

1970年(昭和45年) 大阪万博の国連デーに1000名の生徒たちが、お祭り広場で祝賀演奏。鈴木会長 勲三等瑞宝章。  
1975年(昭和50年) 6月、第1回世界大会をハワイで開催。日本、アメリカ、オーストラリアなどから指導者・生徒・父母870名余が参加。  
1979年(昭和54年) 6月、第4回世界大会を初めてヨーロッパ(ドイツ・ミュンヘン)で開催。鈴木会長 松本市名誉市民に推戴。

### 1980年代

1982年(昭和57年) 10人の生徒による第1回ヨーロッパ演奏旅行(イギリス、ベルギーなど4ヵ国)。鈴木会長 フランスより教育功労勲章。85年にはドイツ連邦共和国より功労勲章一等功労十字賞を授与される。  
1983年(昭和58年) 日米22名の生徒が初の中国演奏旅行(上海、西安、北京)。7月、第6回世界大会を初めて日本(東京・松本)で開催。世界22の国と地域から1500名が参加。

### 1990年代

1989年(平成元年) 第9回世界大会を松本市で開催。日本での開催は2回目。  
1991年(平成3年) 鈴木会長が英サンデータイムス紙の特集「20世紀をつくった1000人」の中の1人に選ばれる。  
1994年(平成6年) 10人の生徒による初の東南アジア演奏旅行(マレーシア、フィリピン)。  
1996年(平成8年) 4月、鈴木鎮一記念館が松本市の開館。  
1998年(平成10年) 長野冬季オリンピック記念コンサート「平和への演奏、世界へ響け1000人の子どもたち」に、20数ヵ国の生徒が出演。(長野市)  
1999年(平成11年) 3月、第45回グランドコンサート(東京)と第13回世界大会(松本)を開催。夏期学校が第50回を迎える。豊田耕児会長就任。

### 2000年代

2002年(平成14年) 信州大学と研究協力協定を結ぶ。  
2004年(平成16年) 第50回記念グランドコンサート(日本武道館)と国際シンポジウムを開催。  
2007年(平成19年) スズキ・メソッド 0~3歳児コースがスタート。  
2008年(平成20年) 中嶋嶺雄会長就任。  
2009年(平成21年) 夏期学校が第60回を迎える。

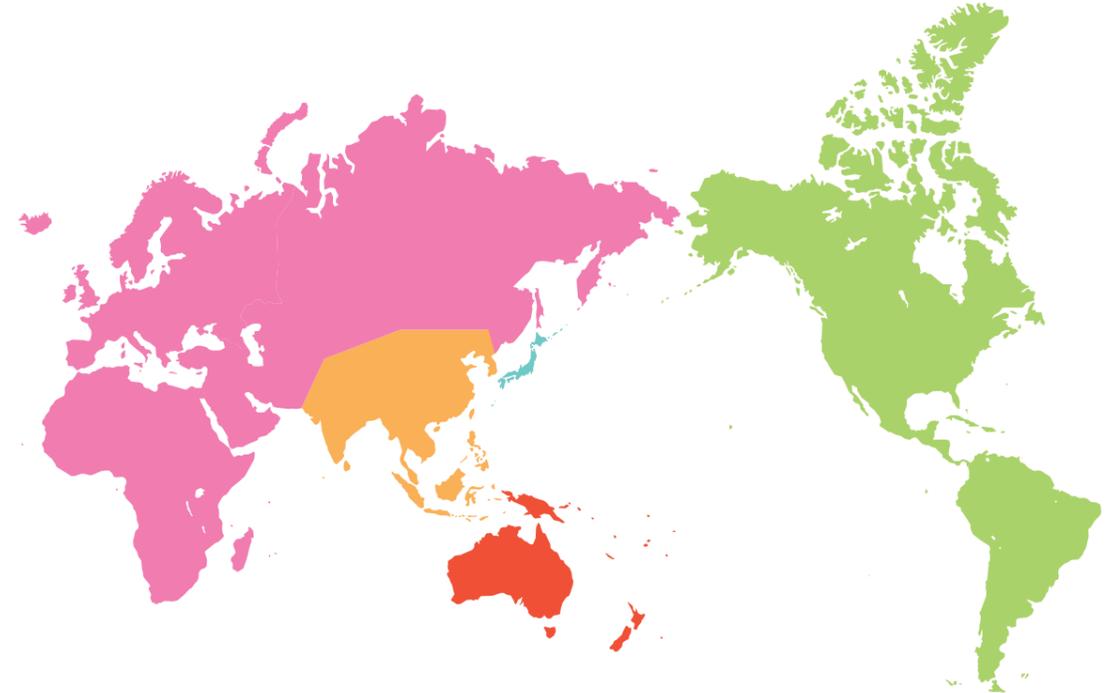
### 2010年代

2012年(平成24年) 10月、「公益社団法人才能教育研究会」に移行。  
2013年(平成25年) 3月、第16回世界大会を松本で開催。日本で4回目の大会に世界36の国と地域から5400名が参加。鈴木裕子会長就任。  
2016年(平成28年) 才能教育研究会創立70周年記念イヤー。  
2017年(平成29年) 早野龍五会長就任。東京大学と共同研究契約を結ぶ。  
2019年(令和元年) 11月、ローマ教皇フランシスコ来日時にスズキ・メソッドの生徒、指導者が御前演奏。

### 2020年代

2021年(令和3年) 全国指導者研究会、夏期学校を初めて全プログラムオンライン配信で実施。夏期学校が第70回を迎える。

## 世界への拡大



略称	組織名	エリア	国と地域の数
TERI	Talent Education Research Institute (公益社団法人才能教育研究会)	日本	1
ARSA	Asia Region Suzuki Association	日本を除くアジア	9
SAA	Suzuki Association of the Americas	北米・中米・南米	20
ESA	European Suzuki Association	欧州・旧ソ連邦・中東・アフリカ	42
PPSA	Pan Pacific Suzuki Association	豪州・オセアニア	2

※2021年10月現在